

令和 8 年度
第 1 回 大野市文化財保護審議会
会 議 録

日 時 令和 8 年 4 月 2 1 日 (火) 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 5 0
場 所 学びの里「めいりん」 2 階 洋室 (中)

大野市文化財保護審議会

出席者 ○委員 7 名 ○事務局 5 名

会長あいさつ

新しい人の紹介があり、年度が始まった感がある。

今冬の雪は、非常に多くの屋根に被害をもたらしており、保険の申し込みの件数も多く、受付がパンクしそうな窓口があったとか。大工や職人が不足し、全部修理されるまでには数年かかると聞いている。私の家も作業小屋に被害があった。挨拶はこれぐらいにして、協議事項に沿って、事務局から説明等をお願いする。

協議事項

(1) 年間行事計画（案）について

【協議結果】 計画案のとおり。

- ・ 審議会は必要に応じて随時開催。
- ・ 文化財視察研修（県内）については、事務局で内容を精査し、9月の審議会で協議する。何か情報があれば、事務局までお願いしたい。
- ・ 委員より視察研修のスケジュールは10月末から11月にしてもらいたいとの要望あり。

(2) 奥越資料（第38号）の発刊について

【協議結果】 委員2名による執筆を中心に構成。

他委員へ、執筆を打診するも特に希望はなかった。

(3) 各委員の推薦について

【協議結果】 大野市文化財保存活用地域計画推進協議会の委員について、委員を推薦（継続）。

大野市博物館運営協議会については9月の審議会で協議。

大野市水循環推進協議会の委員について、委員から交代の申し出があり、協議の結果、推薦する委員を決定。

報告事項（※資料に沿って事務局より報告後、質疑応答）

(1) 令和8年度 文化財保護関係主要事業

① 予算概要

【主な質疑等】

委員：埋蔵文化財発掘調査事業の内容は。

事務局：土地に対する開発行為があった際に、重機を借りて試掘するための経費である。バックホーの借り上げ費を計上している。

今のところ、発掘の予定はない。

委員：旧橋本家について、今冬の雪の影響はなかったのか。

事務局：昨日、公開前の掃除に行ったが、雪による影響は特になかったと認識している。

②旧橋本家屋根修理

【主な質疑等】

委員：写真を見ると、緑色の苔のようなものが生えている箇所が見えるが問題ないのか。

事務局：苔が生えてきているのは、あまりよろしくない。

以前と比べ建物周辺の風通しは良くなっており、北面ではあるが日陰になるような箇所ではない。囲炉裏から遠い屋根で、火入れの煙で燻されにくいことが原因かと思われる。注視していく。

③令和7～8年度の化石の取り組みについて

【主な質疑等】

委員：大野地球科学研究会の化石を企画展で取り上げていただき感謝している。和泉村教育委員会が1977年に発刊した「地質と化石」という本が50年かけて完売した。その本の製作に大野地球科学研究会が協力しており、掲載されているアンモナイトの化石が今も残っている。来年度、節目の年に、そのような化石を展示する企画展を開催していただけるとありがたい。

地域計画に書かれている、文化財の活用計画の趣旨にも合致すると思っており、ぜひ検討願いたい。

事務局：検討させていただく。

委員：化石調査隊の構成年齢は、どのようになっているか。

事務局：中間層の参加者は少ないが、子どもからお年寄りまで、バランスの良い年齢構成であると認識している。

④主な開催予定企画展について

【主な質疑等】

特になし

(2) その他の報告

⑤大野市文化財保存活用地域計画の改訂について

【主な質疑等】

特になし

⑥おおの遺産の認証について

【主な質疑等】

特になし

事務局：おおの遺産の情報について、何かあれば提供願いたい。

⑨その他

特になし

大野市文化財保護審議会

令和8年4月21日（火）午後1時30分から
学びの里「めいりん」2階 洋室（中）

1 会長あいさつ

2 協議事項

(1) 年間行事計画（案）について … 資料1

- ・ 審議会 [4、9、11月]
- ・ 文化財視察研修（県内） [11月]
- ・ 文化財防火査察等 [1月]

(2) 奥越史料（第38号）の発刊について … 資料1

- ・ 前回審議会（R7.12.8）での協議結果
- ・ 今後のスケジュール等

(3) 各委員の推薦について … 資料1

- ・ 大野市文化財保存活用地域計画推進協議会（次：委嘱日～R10.5.31）
- ・ 大野市博物館運営協議会（次：委嘱日～R10.10.31） ⇒ 次回審議会で選出.....

3 報告事項

(1) 令和8年度 文化財保護関係主要事業 … 資料2

(2) その他の報告 … 資料2

4 その他

【協議事項 資料】

(1) 年間行事計画 (案)

月	内 容	備考 (前年度)
4月	4/21 審議会 (年間計画確認等)	
5月		5/15 第1回審議会
6月		
7月		
8月		
9月	9/ 審議会 (選任、奥越史料進捗 等)	
10月		
11月	11/ 委嘱状交付、審議会、県内研修	
12月		12/8 第2回審議会、県内研修
1月	1/ 文化財防火訓練 1/ 文化財防火査察	1/23 文化財防火訓練 1/29 文化財防火査察 ※1/26 文化財防火デー
2月		
3月		

●文化財研修 (県内) 研修先候補

昨年度：大安禅寺 (福井市田ノ谷町) [令和の大修理]

※審議会は必要に応じて
随時開催、視察の日程は仮

(北方面)

行先	市町	備考
福井県立歴史博物館	福井市	ミニ展示「秀吉と越前の武将たち～新収蔵古文書を中心に～」5月15日(金)～7月7日(火) 特別展「福井の昭和「百年」史」8月1日(土)～10月12日(月・祝)
福井市立郷土歴史博物館	福井市	夏季特別展「昭和100年 ふくいのおゆみ」8月7日(金)～9月27日(日) 秋季特別展「画家・波々伯部金洲 (ほおかべ きんしゅう) の仕事」10月10日(土)～11月23日(月・祝日)
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館	福井市	トピック展「かわらけ作りの住んだ町～一乗谷朝倉氏遺跡瓢町の発掘調査から～」3月10日(火)～5月10日(日) トピック展「秀吉がみた朝倉氏の落日」3月20日(金・祝)～5月10日(日)

あわら市郷土歴史資料館	あわら市	特別展「吉崎御山展(仮)」10月3日(土)～12月6日(日)
福井県立恐竜博物館	勝山市	企画展「浙江省で発見された恐竜の研究成果に着目しつつ、中国各地での最新の恐竜研究について紹介(予定)」 7月10日(金)～11月3日(火・祝)(予定)

(南方面)

行先	市町	備考
福井県立若狭歴史博物館	小浜市	特別展「戦国の若狭と京極家の女性たち～常高院とキリスト教と若狭の1600年～」10月17日(土)～11月15日(日)
敦賀市立博物館	敦賀市	特別展「天下人と敦賀～信長・秀吉・家康が求めた港町～」 10月16日(金)～11月29日(日)

(2) 奥越史料(第38号)の発刊について

【頁レイアウト】

25文字×22列 縦2段組(予算措置は100頁で措置)

【スケジュール見込み】

時期	内容
7月初め	頁数の概数把握
9月初め	原稿提出
9月中	手書き原稿の確認 校正
10月～12月	印刷製本の発注および納品・発刊

【報告事項】

(1) 令和 8 年度 文化財保護関係主要事業

① 予算概要 … 資料 2 - 1

② 旧橋本家屋根修理 … 資料 2 - 2

③ 令和 7 ～ 8 年度の化石の取り組みについて … 資料 2 - 3

④ 主な開催予定企画展について … 資料 2 - 4

(2) その他の報告

⑤ 大野市文化財保存活用地域計画の改訂について（令和 7 年度実施） … 資料 2 - 5

⑥ おおの遺産の認証について（令和 7 年度） … 資料 2 - 6

⑦ その他

(3) 各委員の推薦

【参考：各委員一覧】

担当課	審議会名	始期	終期
交通住宅まちづくり課	大野市景観協議会	R6. 4. 1	R10. 3. 31
環境・水循環課	大野市水循環推進協議会	R4. 3. 14	大野市水循環基本計画の計画期間（R12年度）が終了する日まで
環境・水循環課	本願清水イトヨの里運営協議会	R7. 7. 1	R9. 6. 30
生涯学習・文化財保護課	大野市博物館運営協議会	R6. 11. 1	<u>R8. 10. 31</u>
生涯学習・文化財保護課	大野市結の故郷伝統文化認証審査会	R8. 2. 22	R10. 2. 21
生涯学習・文化財保護課	大野市文化財保存活用地域計画推進協議会	R6. 7. 19	<u>R8. 5. 31</u>

令和 8 年度 文化財保護関係主要事業（予算概要）

（千円）

事業名	R 8 年度	R 7 年度	増減	事業内容
文化財保護事務経費	4, 4 7 7	4, 1 0 0	3 7 7	文化財保護に係る事務経費 / 史料整理職員の報酬 / 「奥越史料」印刷製本費
文化財保護審議会経費	3 5 2	3 7 0	- 1 8	文化財保護審議会の開催 / 文化財視察（県内） / 防火査察
旧橋本家管理運営経費	5, 5 2 3	2, 0 1 9	3, 5 0 4	施設維持管理業務委託 / 屋根修理（北面差茅・棟積修理）
文化財環境保全事業	5 9 4	8 1 1	- 2 1 7	指定文化財の監視 / 神像仏像調査
文化財保存活用地域計画推進事業	8 3	1 5 3	- 7 0	文化財保存活用地域計画推進協議会の開催 / 地域計画の進捗確認
埋蔵文化財発掘調査事業	9 1	7 6	1 5	埋蔵文化財包蔵地内での開発対応
伝統文化伝承事業	3 0 1	2 8 7	1 4	結の故郷伝統文化認証審査会の開催 / 結の故郷伝統文化伝承事業補助金
化石保全活用事業	1, 2 0 7	1, 8 0 5	- 5 9 8	化石保護監視 / 県共同発掘調査 / 日本古生物学会研究発表
無形文化財保存育成事業補助	3 2 0	2 7 0	5 0	無形文化財保存育成事業補助
文化財保護関係団体負担金	5 0	5 0	0	全国史跡整備市町村協議会年会費
	1 2, 9 9 8	9, 9 4 1	3, 0 5 7	

令和 8 年度 旧橋本家屋根修理

1. 経緯

令和 5 年度に県の文化財パトロールによる茅脱落の報告を受けた後、県担当者と相談し、(有)山本製材に現場確認を依頼。同社の指摘を受け、令和 6 年度に屋根西面の差茅を実施し、他の屋根面については経過観察をしていた。

令和 7 年 8 月の同社による再度の現場確認の結果、屋根北面の差茅及び棟積の修理が必要と判断された。



2. 修繕概要

内 容 屋根北面の差茅及び棟積の修理
 予算額 3, 4 2 5, 4 0 0 円

3. 近年の屋根修繕

年度	内容	事業費
平成 2 9 ・ 3 0 年度	屋根全面改修	4 4, 1 6 4, 0 0 0 円
令和 6 年度	西面差茅	1, 4 6 8, 1 7 0 円

4. その他

前回同様、施工期間中の見学会を検討中

令和7～8年度の化石の取り組み

1 中部縦貫自動車道大野油坂道路整備工事

(1) 箱ヶ瀬東高架橋工事



調査日：8月26日、9月12日
成果：シダ類の葉化石を採取。

(2) 番屋橋工事



調査日：8月26日、9月5日
成果：シダ類、ソテツ類、ベネチテス類の葉化石を採取。

2 福井県・大野市共同調査



フィールド調査（伊月化石壁）



小割り調査

年度	内容	実施日	場所
R 7	フィールド調査	5月23日、7月18日、10月29日	下打波
		10月14日	上打波
	集中発掘調査	9月3日～9月6日（4日間）	下打波、伊月化石壁、番屋橋工事現場、市化石発掘体験センター
R 8	フィールド調査	時期未定	下打波、伊月化石壁など
	集中発掘調査	9月（5日間予定）	和泉地区

3 化石調査ボランティア「大野化石調査隊」



入隊希望者向け説明会



発掘調査

年度	内容	実施日	参加者数
R 7	入隊希望者向け説明会	4月12日	18人
	第1回 発掘調査	5月24日	20人
	第2回 発掘調査	6月21日	20人
	第3回 発掘調査	7月26日	22人
	第4回 発掘調査	8月16日	17人
	第5回 発掘調査	9月20日	21人
	第6回 発掘調査	10月18日	21人
R 8	第1回 学習会&発掘調査	4月18日	
	第2回 学習会&発掘調査	5月16日	

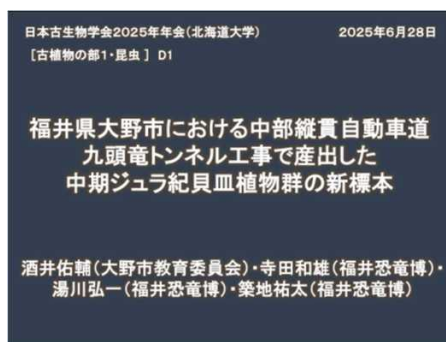
4 学会発表

- (1) 福井県大野市における中部縦貫自動車道九頭竜トンネル工事で産出した中期ジュラ紀貝皿植物群の新標本 [口頭発表]

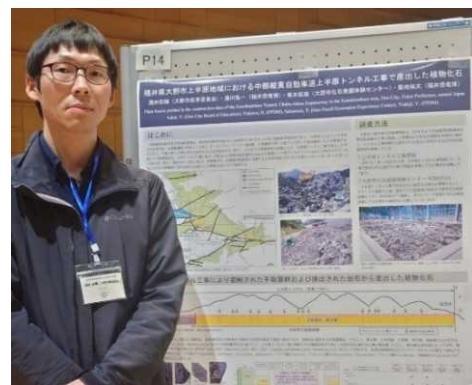
学 会 名：日本古生物学会2025年年会（北海道大学）

開催期間：令和7年6月21日（金）～6月23日（日）

発 表 者：酒井佑輔（大野市教育委員会）・寺田和雄（福井県立恐竜博物館）・湯川弘一（福井県立恐竜博物館）・築地祐太（福井県立恐竜博物館）



- (2) 福井県大野市の下部白亜系伊月層から産した新たなトカゲ類化石 [ポスター発表]
 学 会 名：日本古生物学会2025年年会（北海道大学）
 開催期間：令和7年6月21日（金）～6月23日（日）
 発 表 者：築地祐太（福井県立恐竜博物館）・柴田正輝（福井県大学恐竜学部）・
 宮田和周（福井県立恐竜博物館）・酒井佑輔（大野市教育委員会）
- (3) 福井県大野市上半原地域における中部縦貫自動車道上半原トンネル工事で産出した植物化石 [ポスター発表]
 学 会 名：日本古生物学会第175回例会（鹿児島県薩摩川内市）
 開催期間：令和7年12月5日（金）～12月7日（日）
 発 表 者：酒井佑輔（大野市教育委員会）・湯川弘一（福井県立恐竜博物館）・坂本拓海（大野市化石発掘体験センター）・築地祐太（福井県立恐竜博物館）



- (4) 福井県大野市の下部白亜系手取層群伊月層産シナミア属魚類 [口頭発表]
 学 会 名：日本古生物学会第175回例会（鹿児島県薩摩川内市）
 開催期間：令和7年12月5日（金）～12月7日（日）
 発 表 者：籾本美孝（北九州市立自然史・歴史博物館）・酒井佑輔（大野市教育委員会）・合田隆久（愛知県江南市）
- (5) 福井県大野市に分布する下部白亜系手取層群伊月層から産出した小型鳥盤類恐竜の大腿骨 [ポスター発表]
 学 会 名：日本古生物学会第175回例会（鹿児島県薩摩川内市）
 開催期間：令和7年12月5日（金）～12月7日（日）
 発 表 者：大橋智之（北九州市立自然史・歴史博物館）・合田隆久（愛知県江南市）・酒井佑輔（大野市教育委員会）
- (6) 福井県大野市箱ヶ瀬地域における中部縦貫自動車道大谷トンネル工事で産出した植物化石 [口頭発表]
 学 会 名：日本古生物学会2026年年会（大阪公立大学）
 開催期間：令和8年6月26日（金）～6月28日（日）
 発 表 者：酒井佑輔（大野市教育委員会）・湯川弘一（福井県立恐竜博物館）・築地祐太（福井県立恐竜博物館）
- (7) 大野地球科学研究会が福井県大野市真名川地域で採集した古・中生代化石コレクション [ポスター発表]

学 会 名：日本古生物学会 2026 年年会（大阪公立大学）

開催期間：令和 8 年 6 月 26 日（金）～6 月 28 日（日）

発 表 者：坂本拓海（和泉郷土資料館）・酒井佑輔（大野市教育委員会）・安里開士（福井県立恐竜博物館）・高津琴博（大野地球科学研究会）

5 展示

(1) 令和 7 年度くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ企画展「九頭竜の手取植物群」

開催期間：令和 7 年 7 月 19 日（土）～11 月 3 日（月・祝）

休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

内 容：前期白亜紀の地層である手取層群からは、恐竜などの動物化石だけではなく、多数の植物化石が発見されている。植物化石を詳しく調べることで、当時の環境がどのように移り変わっていったのか分かる。本企画展では、大野市九頭竜エリアにおける手取層群産植物化石の研究史、最新の研究成果について紹介する。

観 覧 料：通常入館料 [大人：400 円、小人（中学生以下）：無料]

展示資料：林谷の手取層群産出の脊椎動物、貝類、植物化石

田茂谷の手取層群産出の植物化石

協 力：福井県立恐竜博物館

入館者数：1,850 人（大人 1,110 人、小人 740 人）



(2) くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ期間限定展示「日本最古級トカゲ類化石」

開催機関：令和 7 年 8 月 5 日（火）～11 月 3 日（月・祝）

休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

内 容：大野市の荒島岳東方の手取層群伊月層（約 1 億 2900 万年前）から新たに発見された日本最古級となるトカゲ類化石（左上顎骨）を展示する。

[実物化石展示] 令和 7 年 8 月 5 日（火）～9 月 23 日（火）

[複製化石展示] 令和 7 年 9 月 25 日（木）～11 月 3 日（月）

観 覧 料：通常入館料 [大人：400 円、中学生以下：無料]

協 力：福井県立恐竜博物館

入館者数：1,476 人（大人 885 人、小人 591 人）



(3) くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ 市民所有の文化財展「真名川の化石」

開催機関：令和 8 年 4 月 18 日（土）～5 月 24 日（日）

休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

(4) くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ 恐竜化石発見 30 周年記念企画展「九頭竜の恐竜たち」(仮称)

開催期間：令和 8 年 7 月～11 月（予定）

令和8年度 主な開催予定企画展について

■民俗資料館 館外展示「昭和100年記念展示 ～昭和の暮らし～」

目 的：

令和8年に昭和元年から起算して満100年を迎えることを契機に、政府では、令和8年を目標として「昭和100年」関連施策を推進することとしており、各地方公共団体および関係施設において積極的な施策展開を求められている。(令和7年6月20日文化庁政策課発事務連絡)

これを受け、大野市民俗資料館が収蔵する民俗資料を活用し、先人たちの叡智と努力を展示紹介する。

テーマおよび会期：

1期 「着る」 4月29日(水)～6月21日(日)

2期 「食べる」 9月8日(火)～10月18日(日)

3期 「働く」 10月27日(火)～12月6日(日)

4期 「暖まる」 12月15日(火)～3月28日(日)

会 場：大野市役所市民ホール「特別ギャラリー」

観覧料：無料

関 連：ギャラリートーク①「着る」

開催日時：6月21日(日) 午前10時30分～午前11時00分

参加費：無料

事前申込：不要

2期～4期についても各会期内でテーマに沿ったギャラリートークを開催予定。

■パネル展「金森長近がつないだ 越前大野と飛騨高山」

目 的：

令和6年度の金森長近公生誕500年を記念して開催された諸事業により、大野市と高山市の歴史・文化を生かした交流が深まった。令和8年度で、長近が越前大野から飛騨高山に移封して440年の節目を迎えるにあたり、当時の長近の様子を紹介することで、両市の交流をより深化させる。

会 期：6月23日(火)～8月30日(日)

会 場：大野市役所市民ホール「特別ギャラリー」

観覧料：無料

協 力：高山市教育委員会

■企画展「朝倉氏100年と大野 ～特別公開・伝 朝倉義景念持仏～」

目 的：

令和8年度NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」で鶴見辰吾氏が義景役を演じることを端緒とし、令和9年度に「一乗谷朝倉氏遺跡博物館 開館5周年」、令和10年度に「朝倉初代・孝景生誕600年」と、朝倉氏に関連するニュースが続く。

大野市は、

- ・大野郡小山城の戦いでの勝利によって、朝倉氏の越前支配が決定付いた。

- ・朝倉氏が守護大名として越前一国を治めるようになると、敦賀郡とともに大野郡に郡司が配置されたことから、統治における要地と目していたことがわかる。
- ・敗北が濃厚になった義景が、一族の再起を図るために選んだ地が大野郡。
- ・六坊賢松寺での義景の自害によって、朝倉五代100余年が終焉した。

このように大野市が朝倉氏を理解するうえでキーポイントとなることを、解説パネルおよび洞雲寺が所蔵する「伝 朝倉義景念持仏」で紹介する。

会 期：8月11日（火）から9月27日（日）

休館日：月曜および祝日の翌日

会 場：大野市歴史博物館 第2展示室

入館料：一般400円 / 中学生以下無料

関 連：史跡めぐり「朝倉氏の史跡めぐり」（プレ開催）（博物館講座）

7月18日（土） 午後1時30分～

※参加費400円（歴史博物館入館券付き 入館券の有効期限は今年度末）

ギャラリートーク（博物館講座）

8月15日（土） 午後1時30分～

9月27日（日） 午後1時30分～

調査研究・保存・活用の課題

■ 調査研究に関する課題

保護に向けた指定・未指定の文化財の価値や現況の把握が課題であり、その調査結果を集積し、研究と公開を進め、詳細調査につなげる必要がある。また、散逸の防止も課題である。

■ 保存に関する課題

人材不足により、文化財では管理不足、き損や滅失、防犯や防災対応の弱体化などが懸念される。担い手確保と保存の機運を高めるため価値や魅力をわかりやすく把握し、来訪者も含めて広く周知し、指定・登録や防災対応などを進める必要がある。

■ 活用に関する課題

指定等文化財や施設に加え、未指定も含むさまざまな文化財について活用を進め、若年期からの郷土愛の醸成につなげる必要がある。文化財の持続可能性を高め、その魅力を観光や地域づくりにつなげる新たな取り組みが求められている。

調査研究・保存・活用の方針

■ 系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし【調査研究】

■ 指定文化財の価値の再把握や未指定文化財の指定など【保存】

■ 維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備【保存】【活用】

■ 児童・生徒の郷土愛と文化財愛護意識の醸成【活用】

■ 市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出【保存】【活用】

■ 無形民俗文化財の保護の推進【保存】【活用】

■ 観光と地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討【活用】

■ 文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討【保存】

調査研究・保存・活用の主な措置（※太字は重点期間）

■ 「文化財カルテ」の作成

文化財の現状把握を図り、保護や保全につなげるため、文化財の状態を記録する「文化財カルテづくり」を進める
 ■取組主体：市、所有者など ■事業期間：R4～7（～12）

■ 指定文化財の維持管理

指定文化財を良好な状態で管理し、保存を図るための計画づくりや補修、清掃などの維持管理を行う
 ■取組主体：市、所有者など ■事業期間：R4～12
 ・重要文化財「旧橋本家住宅」の維持管理
 ■取組主体：市 ■事業期間：R4～12
 ・天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境維持
 ■取組主体：市 ■事業期間：R4（～12）

■ 子ども向け歴史イベントの実施

史跡めぐりや、古文書体験など歴史イベントを実施。また郷土の歴史調べなどに協力する
 ■取組主体：市、教育研究機関 ■事業期間：R4～12

■ 博物館資料の展示品の解説の充実と体験機会の創出

博物館の展示資料について解説を充実させるとともに、実物に触れたり、使ってみたりなどの体験できる展示を行う
 ■取組主体：市 ■事業期間：R4～7（～12）

■ 「おおの遺産」の認証

調査結果に基づいて、新たな「おおの遺産」の認証に取り組む
 ■取組主体：市、所有者など ■事業期間：R4～12

■ 越前大野城の維持管理と活用

大野市のシンボル越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信する。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応する
 ■取組主体：市 ■事業期間：R4～12

■ 生涯学習推進計画の事業の推進

伝統芸能や伝統行事の継続など、地域の課題解決に関する学習を進める
 ■取組主体：市 ■事業期間：R4～12年度

11の関連文化財群

歴史文化の特徴を大きな枠組みとして位置付け、大野市の歴史文化を物語る上で欠かせない要素である主な文化財の集まりを、関連文化財群として設定

人と地域がつなく「交流の文化」

< 1 > 原始・古代の人々の営み

< 2 > 町や村に暮らす人々の交流

< 3 > 華開く「進取の気象」
しんしゅ きしやう



戦時の城から泰平の大野へ「城・城下町の文化」

< 4 > 戦乱の時代と大野盆地の城郭群

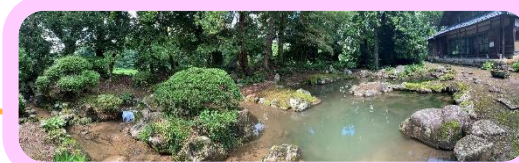
< 5 > 大野城の築城と城下町の形成、その後の発展



今も息づく「祈りと祭りの文化」

< 6 > 地域に息づく多様な信仰形態

< 7 > 受け継がれる芸能



自然と共に生きる「暮らしの文化」

< 8 > 自然の恵みと暮らし

< 9 > 食の営み



大野に残る「太古の記憶」

< 10 > 化石が物語る大地の歴史

< 11 > 山と盆地の豊かな自然環境



【関連文化財群】 <5> 大野城の築城と城下町の形成、その後の発展

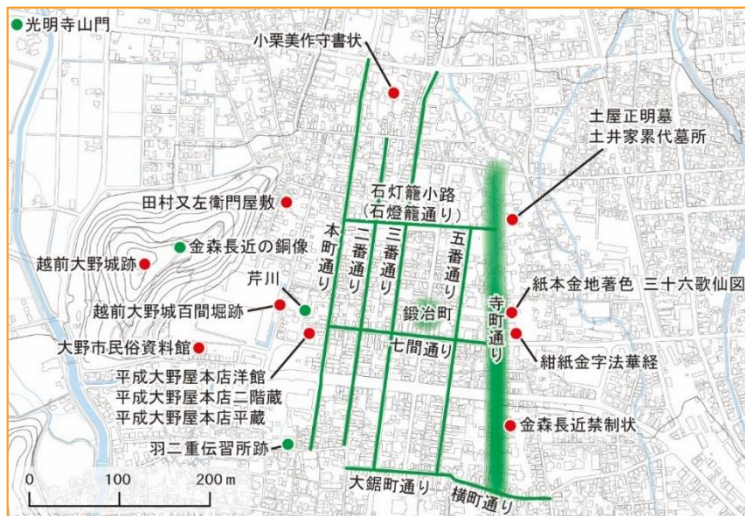
概要

金森長近は初め戌山城に入ったが、ほどなく亀山とその周辺を城郭整備の地とし、大野城を築城した。また、亀山の東側では、旧土橋庄（今の日吉町周辺）にあった町を当地へ移転させ、城下町の建設を進めた。

長近は、城下町を東西、南北各6筋の道により短冊状に区画し、武家屋敷と町屋敷を配置した。また、城下町南東の湧水地・本願清水を水源とし、豊かな水環境を生かした城下の整備を進めた。大野城の堀と池には湧水がたたえられ、城下町を南北に通る各街路には上水路を、各屋敷の背中合わせの境には、「背割り水路」と呼ばれる生活排水用の下水路を設置した。長近による城下町の整備は、現在の大野市街地の原型となっている。

江戸時代の大野城下は芹川を境に武家と町人の居住区域が明確に区別された。奥越地域における政治・経済の中心地として、さらに発展し、幕末、城下町には約6,000人が居住しており、さまざまな職種の商工業者が集積し、大きな賑わいを形成していた。

構成文化財の分布マップ（市街地のみ抜粋）



● 指定等文化財 ● 未指定文化財

関連文化財群を巡る課題と方針

課題	方針
越前大野城の石垣の劣化に対する保存整備などについて検討していく必要がある	文化財の価値を損ねないような整備を行う
越前大野城は来訪者が大野市の歴史を感じる主要な施設になっていることから、適切な維持管理や情報発信が必要	大野城やゆかりの地などを理解する展示を充実
大野市内には多くの歴史文化施設があるが、単独での事業実施には限界がある	来訪者の満足度を向上させるために各施設の周遊を促進する



関連文化財群に関する主な措置

<p>■ 県指定史跡「越前大野城跡」の調査と保存整備</p> <p>県指定史跡「越前大野城跡」の石垣と遺構の調査を行い、傷んでいる箇所については修復を行う。</p>	<p>■ 事業主体：市（文化財部局）</p> <p>■ 事業期間：R4～12</p>
<p>■ 越前大野城の維持管理と活用</p> <p>適切な維持管理及び、城や歴代城主、ゆかりの地などを来訪者に情報発信する。スタンプラリーや御城印などのイベントも実施。</p>	<p>■ 事業主体：所有者など 市（他部局）</p> <p>■ 事業期間：R4～12</p>
<p>■ 歴史文化施設の周遊イベントの開催</p> <p>歴史博物館や民俗資料館、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、本願清水イトヨの里、COCONOアートのプレイスなど、大野市内の文化施設の周遊促進を図るための事業を実施する。</p>	<p>■ 事業主体：市（文化財部局） 市（他部局）</p> <p>■ 事業期間：R4～12</p>



越前大野城



七間通り



武家屋敷旧内山家



おおの遺産の認証について（令和7年度）

認証番号	分野	団体	名称	由来・特色
29	年中行事	新町区	あぶらや地蔵尊御例祭	当区に居住していた「あぶらや与八」の娘の菩提を弔うために作られた地蔵尊を、夢告により、地区全体の守護として祀る。 かつては炒り豆を供えることで歯痛を鎮めるとして、信仰された。



あぶらや地蔵尊御例祭



あぶらや地蔵尊の縁起

おおの遺産 一覧

七間朝市	明倫町1区による乳地蔵のご祈祷
蕨生 里神楽	穴馬紙
篠座神社の里神楽・豊栄舞	奥越太鼓
木本領家里神楽	アジメ漁
木本区初午だんご撒き	お箸始め
篠座神社の福もちまき	深井の講
篠座町の旧家が持ち回る神明講	新四国八十八ヶ所お砂踏み法要
上大納左義長	水神さんの参詣
尾永見伊勢講	鉛筆供養
鍬掛伊勢講	阿難祖八坂神社の祭礼
行人岩	上据区の田休み
伊勢講	太田白山神社の注連縄づくり
下打波白山神社・中神神社の祭礼	元町1区2班の火伏のご祈祷
稲郷里神楽	あぶらや地蔵尊御例祭
陽明町一丁目1区の不動明王祭	